2019年6月26日

各　　位

会社名　　　　ヒビノ株式会社
代表者名　　　代表取締役社長　日比野 晃久
（コード番号 2469　東証 JASDAQ）
問い合わせ先　執行役員ヒビノGMC経営企画本部長　大関 靖
（TEL：03-3740-4391）

# 当社連結子会社による株式会社サンオーの株式取得（孫会社化）及び株式譲渡契約締結に関するお知らせ

当社は、2019年6月26日開催の取締役会において、当社連結子会社である日本音響エンジニアリング株式会社が、株式会社サンオーの全株式を取得し完全子会社化（当社の完全孫会社化）することを決議し、同日付で日本音響エンジニアリング株式会社は、株式会社サンオーの株主との間で株式譲渡契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．株式取得の理由

当社は「音と映像のプレゼンテーター」を標榜し、音響と映像を中心とした製品、商品、サービスを多様な市場に提供しています。2021年３月期を最終年度とする３ヵ年の中期経営計画「ビジョン2020」においては、さまざまな分野のナンバーワン、オンリーワン企業が集まり連携する仕組みをつくる「ハニカム型経営」の推進に取り組んでいます。

当社連結子会社である日本音響エンジニアリング株式会社は、音・振動に関する高度な知識と技術力を活かし、工場などへ騒音対策のコンサルティングサービスを提供しています。同社固有の音源探索技術、音の可視化・予測シミュレーション・計測技術を駆使することで、騒音源を的確に把握し、実効性を持った騒音対策を実現しています。

工場においては、騒音規制法に基づく規制基準に準拠し周辺住民の生活環境を保全することはもちろんのこと、事業場で作業をする労働者に対する作業環境の整備も重要な課題であります。近年は、企業イメージの向上や従業員満足度向上のための騒音対策ニーズが増加しており、当社グループは、こうした潮流を追い風ととらえ、騒音対策事業の育成を目指しています。

一方、株式会社サンオーは、工場やオフィスビル、公共施設、商業施設の騒音対策工事を主力事業として営むほか、防音パネルやサイレンサー等の防音設備製品を自社で設計・製造しています。中でも空調設備に対する防音・消音技術おいて、長年の経験と実績に裏付けされた強みを持ち、大手設備工事会社を中心とした顧客基盤を確立しています。

日本音響エンジニアリング株式会社は、株式会社サンオーの製品や製造機能等を活用することで、さらなる事業拡大が見込めること及び新たな騒音対策製品の共同開発が期待できることから、同社を子会社とすることといたしました。さらに技術者の交流、営業基盤の相互活用などのシナジー効果を発揮し、両社の企業価値の向上を図っていきます。

今後も当社グループは、中期経営計画の目標達成に向けたさまざまな取り組みをグループ全体で推進していきます。

２．株式を取得する当社連結子会社の概要

| | |
|---|---|
| （１）名　　　　　称 | 日本音響エンジニアリング株式会社 |
| （２）所　　在　　地 | 東京都墨田区緑一丁目 21 番 10 号 BR 両国２ビル |
| （３）代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長　　山梨　忠志 |
| （４）事　業　内　容 | ・建築音響に関する設計・施工<br>・音響製品の開発・製造・販売<br>・音・振動に関するコンサルティング、調査・測定 |
| （５）資　　本　　金 | 30 百万円 |
| （６）設　立　年　月　日 | 1974 年４月 17 日 |
| （７）大株主及び持株比率 | ヒビノ株式会社　　　　　　100％ |

３．異動する子会社の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| （１）名　　　　　称 | 株式会社サンオー | | |
| （２）所　　在　　地 | 東京都台東区雷門二丁目 11 番９号 | | |
| （３）代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長　　奥澤　敏雄 | | |
| （４）事　業　内　容 | ・防音設備工事に関する設計・施工<br>・防音設備製品の設計・製造・販売 | | |
| （５）資　　本　　金 | 10 百万円 | | |
| （６）設　立　年　月　日 | 1989 年５月 18 日 | | |
| （７）大株主及び持株比率 | 奥澤 敏雄氏、奥澤 和子氏　　100％ | | |
| （８）上場会社と当該会社との間の関係 | 資本関係 | 該当事項はありません。 | |
| | 人的関係 | 該当事項はありません。 | |
| | 取引関係 | 該当事項はありません。 | |
| （９）当該会社の最近３年間の経営成績及び財政状態 | | | |
| 決算期 | 2016 年４月期 | 2017 年４月期 | 2018 年４月期 |
| 純　資　産 | 9 百万円 | 1 百万円 | 19 百万円 |
| 総　資　産 | 140 百万円 | 127 百万円 | 138 百万円 |
| １株当たり純資産 | 47,523.09 円 | 9,842.68 円 | 98,804.85 円 |
| 売　上　高 | 214 百万円 | 195 百万円 | 246 百万円 |
| 営　業　利　益 | △4 百万円 | △7 百万円 | 25 百万円 |
| 経　常　利　益 | △6 百万円 | △7 百万円 | 24 百万円 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | △6 百万円 | △7 百万円 | 17 百万円 |
| １株当たり当期純利益 | △30,048.09 円 | △37,680.42 円 | 88,214.70 円 |
| １株当たり配当金 | － | － | － |

４．株式取得の相手先の概要

| | |
|---|---|
| （１）氏　　　　　名 | 奥澤 敏雄氏、奥澤 和子氏 |
| （２）上場会社と当該個人の関係 | 該当事項はありません。 |

５．取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

| | |
|---|---|
| （１）異動前の所有株式数 | ０株（議決権の数　０個）　（議決権所有割合　0％） |
| （２）取得株式数 | 200 株（議決権の数　200 個） |
| （３）取得価額 | 株式会社サンオーの普通株式　45 百万円<br>アドバイザリー費用等（概算額）　25 百万円<br>合計（概算額）　70 百万円 |
| | 取得価額につきましては、独立した第三者が算定した評価額をもとに、株式取得の相手先と協議の上、決定しております。 |
| （４）異動後の所有株式数 | 200 株（議決権の数　200 個）　（議決権所有割合　100％） |

６．日程

| | |
|---|---|
| （１）取締役会決議日 | 2019 年６月 26 日 |
| （２）株式譲渡契約締結 | 2019 年６月 26 日 |
| （３）株式取得実行日 | 2019 年８月１日（予定） |

７．今後の見通し

本件が 2020 年３月期の当社連結業績に与える影響は軽微であります。

以　上

（参考）当期連結業績予想（2019 年５月 13 日公表分）及び前期連結実績

（単位：百万円）

| | 連結売上高 | 連結営業利益 | 連結経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 |
|---|---|---|---|---|
| 当期連結業績予想（2020 年３月期） | 43,500 | 1,800 | 1,800 | 1,000 |
| 前期連結実績（2019 年３月期） | 33,910 | 1,431 | 1,724 | 976 |